

堅牢タブレット

LZ-AA10 シリーズ ユーザーズマニュアル

Logitec

目次

取り扱い上のご注意	3
廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意	9
ごあいさつ	10
本体使用上のご注意	11
1. 本体と付属品の確認	13
2. 各部の名称	14
3. 充電仕様	18
4. 目的に応じて設定を変更する	22
5. アプリケーションのインストール方法	30
6. その他の機能・設定	32
7. デスクトップクレードル (PC-LZAADTCR01)	33
8. トラブルシューティング	36

取り扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。
必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

動作環境温度

- ・本製品は以下の温度条件下でご使用ください。
動作環境温度（バッテリー駆動時）：-10℃～50℃（湿度 0%～95% ただし結露しないこと）
充電環境温度：0℃～40℃（湿度 0%～95% ただし結露しないこと）
保存環境温度：-20℃～60℃（湿度 0%～95%）

バッテリーへの充電

- ・付属の充電器では、タブレット本体をご使用になりながらの充電はお控えください。
- ・タブレット本体の充電が完了したら、充電器を家庭用コンセントから抜き、タブレット本体から充電器ははずしてください。

表示について

- ・この「取り扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解しながら本文をお読みください。



危険

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる可能性がある項目です。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



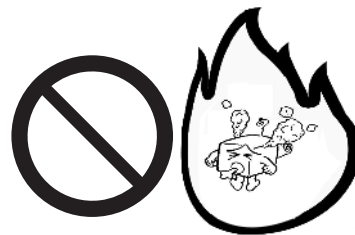
塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは充電器のプラグをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

⚠ 危険

バッテリーに関する注意

● 火中に投入したり、加熱したりしない。

発熱・発火・破裂・爆発の原因になります。



● くぎなど尖ったもので刺さない。また、衝撃を与えたり、分解改造をしない。

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



● 火のそばや炎天下、高温の場所での充電・使用・放置をしない。

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



● 対応温度・環境以外で充電しない。

対応温度・湿度範囲外の充電は液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



警告

● 万一、異常が発生した時。

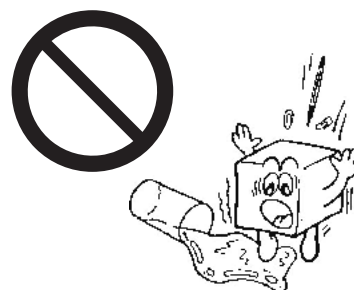
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて弊社テクニカルサポートにご相談ください。



● 異物を入れない。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り弊社テクニカルサポートにご相談ください。



● 表示された電源で使用する。

充電器は必ず AC100V のコンセントに接続してください。



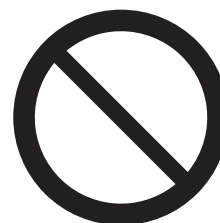
● 充電器を大切に。

充電器は破損しないよう十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被覆が破れて感電や火災の原因となります。



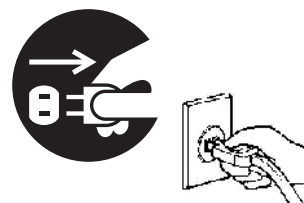
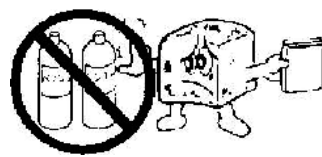
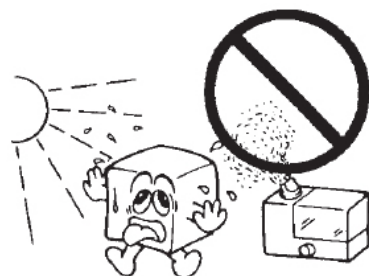
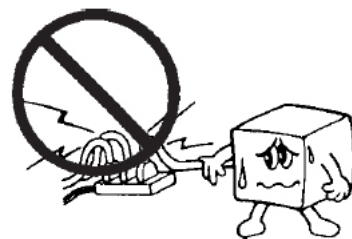
● 使用中は本体や充電器・コードに長時間触れて使用しない。

やけどや低温やけどの原因となります。

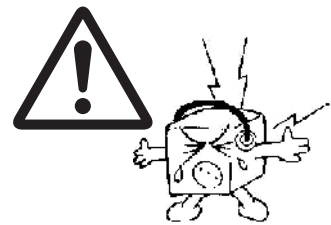


⚠ 注意

- 充電器はなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。
- 充電器のコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。
- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用や保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用や保管は避けてください。
- 本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。
- 本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプターのプラグをコンセントから抜いておいてください。



- 本製品を使用して、サウンドを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害が発生する場合があります。特にヘッドフォンを使用する場合は、必ず最初にヘッドフォンを耳から離れた状態で音量を確認してください。
- LCD パネルは、膨大な数の薄膜トランジスタ（TFT）で構成されています。画面上で小数のドットの欠落、変色、発光が見られる事もありますが、これは、TFT 液晶技術に起因するもので、製品自体の欠陥によるものではありません。
- 本製品には、有寿命品が含まれております。LCD（液晶）パネル、バックライト、タッチパネル、バッテリー、コンデンサ、AC アダプター等の経時による劣化（輝度の変化、色の変化、輝度と色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加、感度低下、機能低下など）生じた場合は、保証期間でも有償修理とさせていただきます。
- 継続してご使用になる場合には、定期的なデータのバックアップ及びメンテナンス（有寿命品の交換、清掃）を行ってください。



■ 電波に関する注意事項

この機器の仕様周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、弊社テクニカルサポートまでご連絡いただき、混乱回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電場干渉の事態が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
- 4 法令により、無線 LAN の 5GHz 帯の 5.3GHz 帯を屋外で使用することは禁止されています。5.2GHz 帯は条件付で屋外利用が可能です。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。

この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

V C C I - A

廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

■ご利用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

●本製品を廃棄する際、内蔵ストレージに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。

●内蔵ストレージに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

内蔵ストレージ上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。また、内蔵ストレージ上のソフトウェアを消去することなく本製品を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書では製品の設定接続方法、機能や仕様等についてのご説明をいたします。ご使用前に必ずご一読ください。

ご注意

- ①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することを禁止させていただきます。
- ②本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル サポートまでご連絡願います。
- ③本書に記載されている機種名やソフトウェアのバージョンは本書作成時の情報です。
最新情報については、弊社テクニカルサポートへお問い合わせください。

■サポート窓口のご案内

●テクニカルサポート

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対する疑問点は、次の内容をご確認の上、テクニカルサポートまでお問い合わせください。

FAX にてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

①現在の状態 （できるだけ詳しく）

②製品の名称 / シリアル番号

テクニカルサポート （ナビダイヤル）

TEL. 0570-006409

受付時間： 9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

※上記電話番号は「コールバック方式」です。ご用件を伺ってから、担当より折り返しお電話いたします。

※携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX 共）、IP 電話（TEL、FAX 共）、ひかり（光）電話はご利用になれません。ナビダイヤルをご利用出来ない方は TEL:011-350-5946 へおかけください。

- ④本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容は、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。
- ⑤本製品に保存したデータについては、理由を問わず一切の保証はいたしかねます。誤操作、落雷などの自然災害、経年劣化や不慮の事故等による製品故障に備え、重要なデータはあらかじめバックアップ（データの複製）をお願いします。
- ⑥本製品の仕様はお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。
- ⑦本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
- ⑧本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関して弊社ではいかなる責任も負いかねます。また弊社では海外使用に関するサービス・サポートは一切行っておりません。
- ⑨本製品を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、弊社ではいかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。

本体使用上のご注意

- ・ 本製品の耐衝撃落下性能、耐振動性能、防塵防滴性能は製品の無破損、無故障を保証するものではありません。
- ・ 動作温度範囲内であっても、急激な温度変化にさらすと故障の原因になりますのでご注意ください。
- ・ 充電器は必ず付属品をお使いください。
付属品以外を使用しますと故障の原因になります。
- ・ 本体のリセットボタンは、本体がフリーズし電源ボタンを押しても反応がない場合にのみ使用ください。むやみに使用すると故障の原因となります。
また、リセットボタンを押すと日付・時刻がずれる場合があります。

マニュアル中の表示について

本機を使用するにあたり役に立つ情報の提供や、ハードウェアの破損、故障の可能性の警告のため、次の「メモ」、「重要」、「注意」の3つの記載が本マニュアルでは使用されています。



メモ

役に立つ情報を記載しています。



重要

知っておいていただきたい重要な情報を記載しています。



注意

ハードウェアの破損、故障の可能性があることや、問題を回避する方法を説明しています。

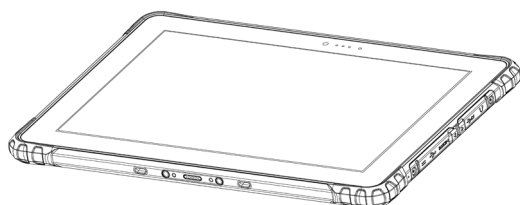
1. 本体と付属品の確認

本体と標準付属品が揃っていることを確認してください。

万一、足りないものがあったり、破損しているものがあった場合は、販売店または弊社サポート窓口までご連絡ください。

本体と標準付属品一覧

●本体



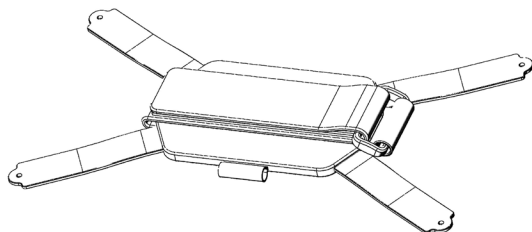
●充電器

MPA-ACCP04BK



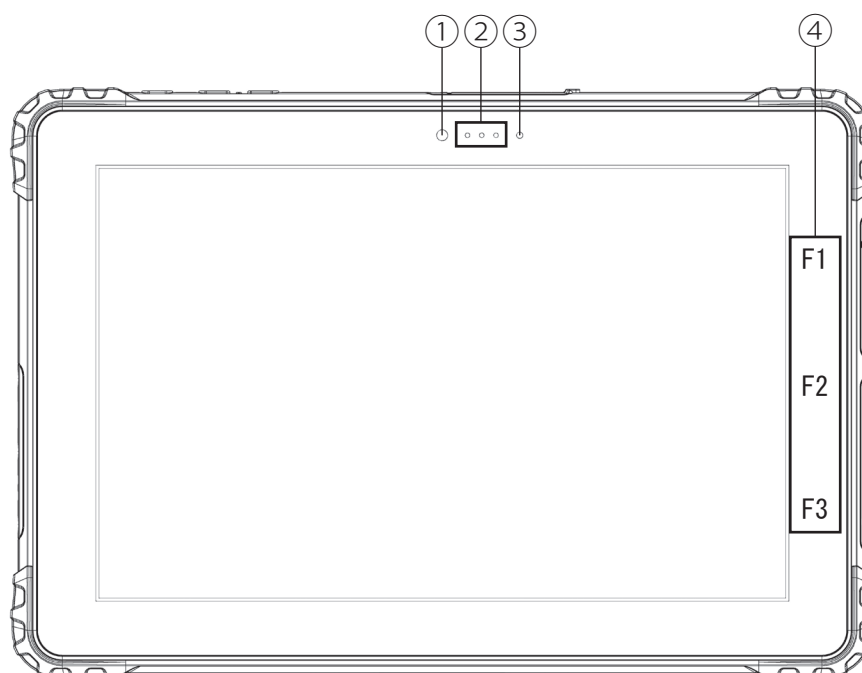
●ハンドストラップ

PC-LZWAHDST01



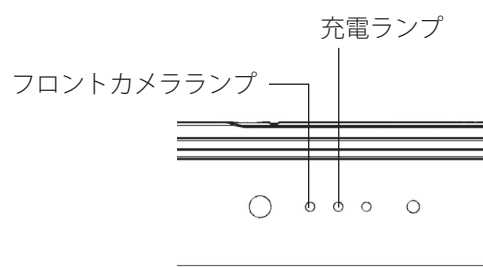
2. 各部の名称

前面



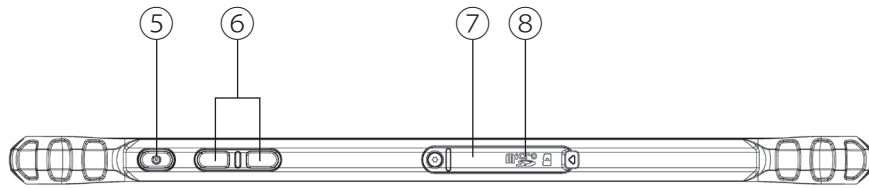
番号	名前	説明
①	フロントカメラ	500 万画素のカメラです。
②	表示ランプ	本体の状態を示すランプです。それぞれのランプについては、以下の表をご覧ください。
③	照度センサー	周辺の明るさを検知するセンサーです。
④	ファンクションボタン	起動するアプリケーションを割り当てることができます。

表示ランプ

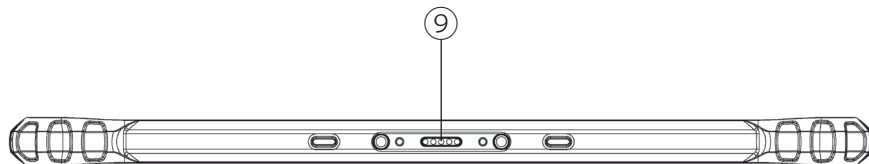


名前	説明
充電ランプ	赤：充電中 赤点滅：充電制限中 消灯：充電完了、または、AC アダプター未接続
フロントカメラランプ	白：フロントカメラ起動中 消灯：フロントカメラ停止中

天面



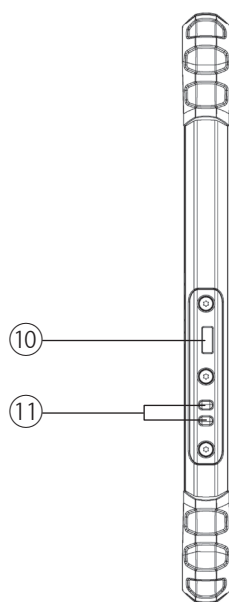
底面



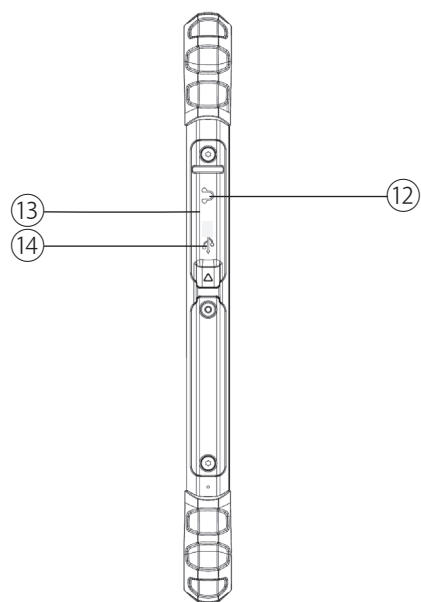
番号	名前	説明
⑤	電源ボタン	本体の電源をオン / オフします。
⑥	音量ボタン	音量を調整します。右のボタンで音量が上がり、左のボタンで音量が下がります。
⑦	nano SIM カードスロット	nano SIM カード用スロットです。
⑧	Micro SD スロット	Micro SD カード用のメモリカードリーダーポートです。
⑨	ドッキングコネクタ	オプション機器の接続時に使用します。

側面

左側面



右側面



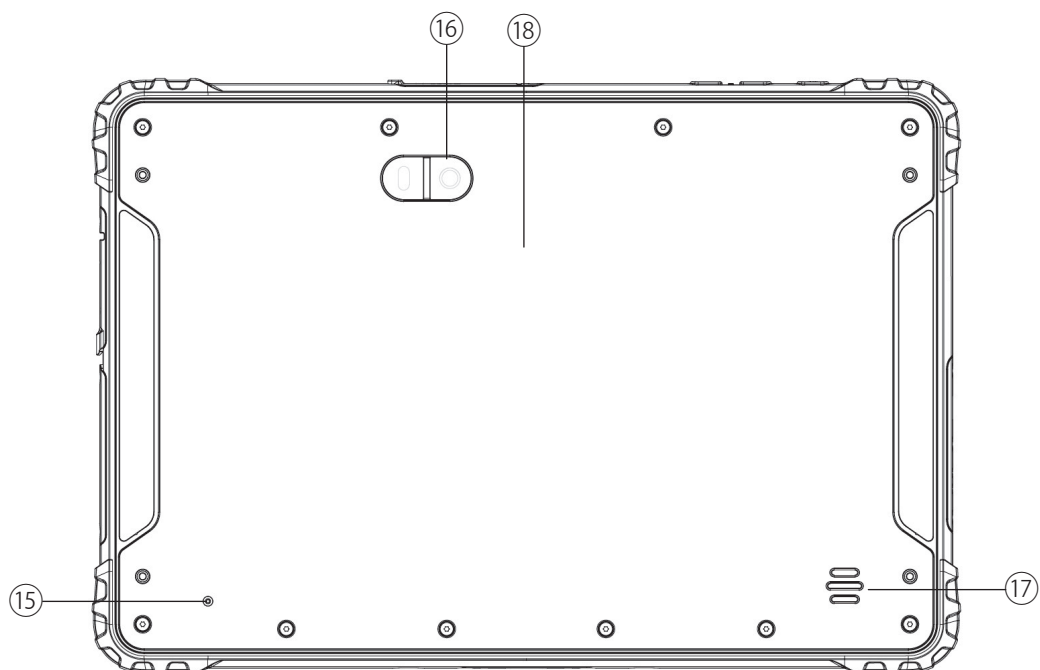
番号	名前	説明
⑩	ケンジントンロック	市販のセキュリティケーブルを利用して、本体を机などにつなぐことができます。
⑪	ストラップ取り付け穴	市販のストラップを取り付けることができます。
⑫	ヘッドホンジャック	ヘッドホンまたは、ヘッドセットを接続できる、4 極ポートです。マイクは 3.5mm4 ピンヘッドセットのみサポートされています。
⑬	リセットボタン	本機を強制的にリセットさせるボタンです。ペンの先や爪楊枝などでボタンを押してください。
⑭	USB2.0 (Type-C) ポート	USB2.0 (Type-C) 規格に対応した USB ポートです。



注意

- ・リセットボタンは、本機がフリーズし、電源ボタンを押しても反応が無い場合など、やむを得ない場合にのみ使用してください。むやみに使用すると故障の原因となります。
- ・リセットボタンを使用して強制シャットダウンを行うと、日付・時刻がずれる場合があります。

背面



番号	名前	説明
⑮	マイク	本機に音声を取り込みます。
⑯	リアカメラ	1300 万画素のオートフォーカス機能付きカメラです。
⑰	スピーカー	本機の再生音を出力します。(モノラル出力)
⑱	非接触 IC カードリーダー	非接触 IC カードの読み取りができます。

3. 充電仕様

本機は内蔵バッテリー、および付属の充電器により動作します。

なお、本機を初めて使用する場合は、付属の充電器を使用して操作をすることを推奨します。

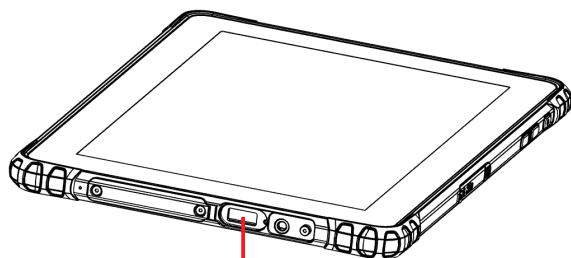


注意

充電器は本製品に付属のものを使用してください。付属の充電器以外を使用した場合、本機やバッテリーの故障や破損の原因となります。

本機に充電器を接続するには次の手順で行います。

1. 本機の右側面にあるカバーを開ける
2. USB ケーブルの Type-C コネクタを、本機の USB2.0 (Type-C) 端子に差し込む



USB2.0 (Type-C) 端子

3. USB ケーブルのコネクタを、充電器の USB 端子に差し込む
4. 充電器をコンセントに差し込む

接続した充電器をコンセントに差し込むと、バッテリーの充電を開始します。



メモ

バッテリー残量が 95%以上あるときは、バッテリーの充電が始まらない場合があります。これはバッテリーの劣化を抑制するための仕様です。

内蔵バッテリーでの駆動時間、およびフル充電までの時間については、以下の表をご覧ください。

バッテリー駆動時間	フル充電までの時間
約 14.5 時間	約 6 時間 (電源オフ時)、約 4.5 時間 (電源オン時)



メモ

低温環境使用時には、リチウムイオンバッテリーの特性上、バッテリーの容量が低下します。その場合、バッテリー稼働時間が短くなる可能性がありますのでご了承ください。

充電制限機能について

充電器接続時、動作環境温度（0℃～40℃）を超える環境で本機を使用する場合、内蔵バッテリー保護のため、バッテリーへの充電を制限する「充電制限機能」が働くことがあります。充電制限中は、充電ランプが点滅し、バッテリーが充電されません。この状態で長時間使用を続けると、バッテリーが放電を続け、バッテリー切れの状態になりますのでご注意ください。

充電器接続時、システム高負荷状態が続きますと、充電回路 IC 保護のためバッテリーへの充電を抑制する「充電抑制機能」が働くことがあります。この状態で使用を続けると、バッテリーへの充電が放電に間に合わず、バッテリーが少しずつ放電状態となります。さらにこの状態で充電時間が 12 時間を超えますとバッテリー保護のため、充電停止機能が働き、バッテリーへの充電を停止させます。再充電のためには充電器の再接続が必要となります。

タブレット本体への充電は、電源を OFF にした状態であることをお勧めします。

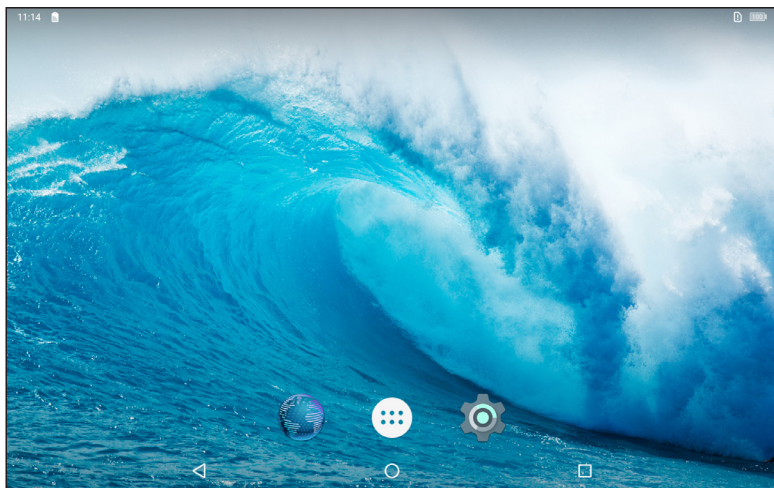
電源の ON / OFF、再起動

本機は専用の AC アダプターと接続し、バッテリーを充電することで動作します。本機の電源の ON / OFF、再起動は次の手順で行います。

電源を入れる【電源 ON】

1. 本体天面の電源ボタンを 3 秒以上押す

起動画面が表示されたあと、ホーム画面が表示されます。



電源を切る【シャットダウン】

1. 本体天面の電源ボタンを 3 秒以上押す
メッセージウインドウが表示されます。
2. 「電源を切る」をタップする



3. 「OK」をタップする

シャットダウンが実行され、画面が消灯します。

再起動する

1. 本体天面の電源ボタンを 3 秒以上押す
メッセージウインドウが表示されます。

2. 「再起動」をタップする



メッセージウインドウが表示されます。

3. 「OK」をタップする

再起動が実行されます。画面が暗くなった後ですぐに起動画面が表示されます。

4. 目的に応じて設定を変更する

時刻を指定して本機をコントロールする【Schedule 機能】

指定した時刻に本機の電源の ON/OFF、再起動、スリープモードの ON / OFF させることができます。時刻や繰り返しの設定は次の手順で行います。

動作を選択する【Schedule 機能】

1. 「設定」をタップする
2. 「Scheduled」をタップする
3. 設定したい動作の切り替えバーをタップして緑にする



動作	概要
power off	指定した時刻に電源を切ります
reboot	指定した時刻に再起動します
wake up	指定した時刻にスリープモードから復帰します
sleep	指定した時刻にスリープモードに切り替わります

4. 「OK」をタップする

動作の時刻を設定する【Schedule】

1. 設定したい動作の時間をタップする



2. 「Time」をタップする

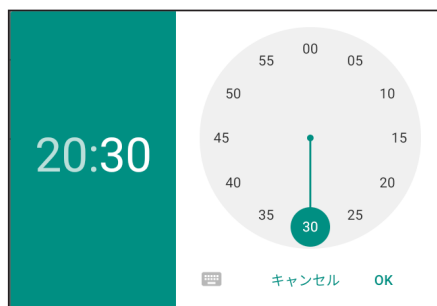


3. 設定したい時刻をタップする

午前の場合は円の外側（1～12）、午後の場合は円の内側（00～23）の数字をタップします。

設定画面	設定
	時（1～12、00～23）
	分（00～59）

たとえば、20:30 に設定したときは次のようになります。



4. 「OK」をタップする



注意

「Sleep ON」と「Sleep OFF」を同時刻に設定することはできません。エラーメッセージが表示されますので、時刻の設定をやり直してください。

動作の繰り返しを設定する【Repeat】

1. 「Repeat」をタップする



2. 動作を繰り返す曜日を選択し、「OK」をタップする

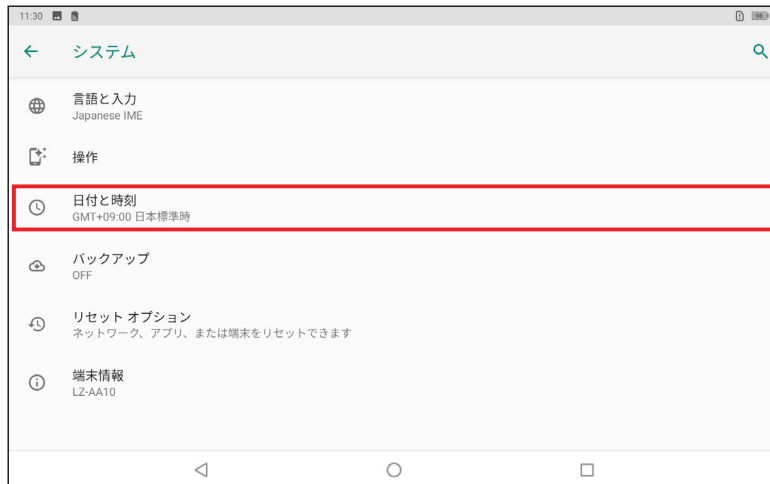
複数の曜日を選択することができます。



NTP サーバのアドレスを指定する

本機の内部時計の時刻合わせの際に、時刻情報を問い合わせる NTP サーバのアドレスを指定します。

1. 「設定」をタップする
2. 「システム」をタップする
3. 「日付と時刻」をタップする



4. 「NTP Server」をタップする



5. 設定するアドレスを入力する

A screenshot of a dialog box for entering the NTP Server address. The title is 'NTP Server'. There is a text input field with a red rectangular border. At the bottom right, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and 'OK'.

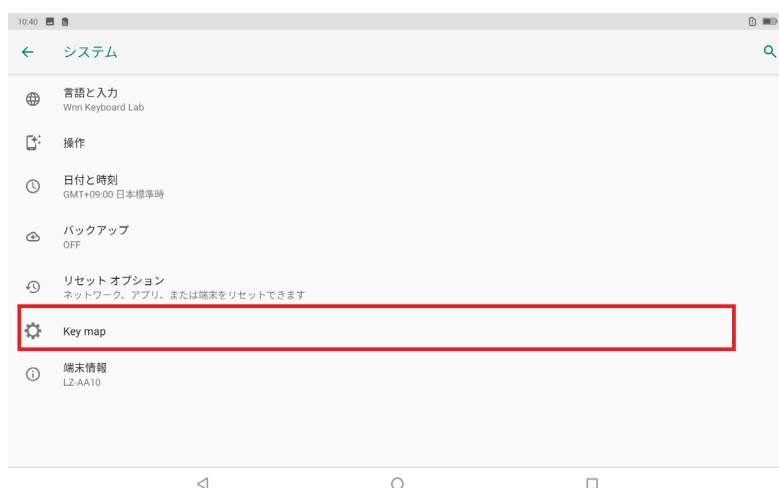
6. 「OK」をタップする

NTP サーバのアドレスが指定されます。

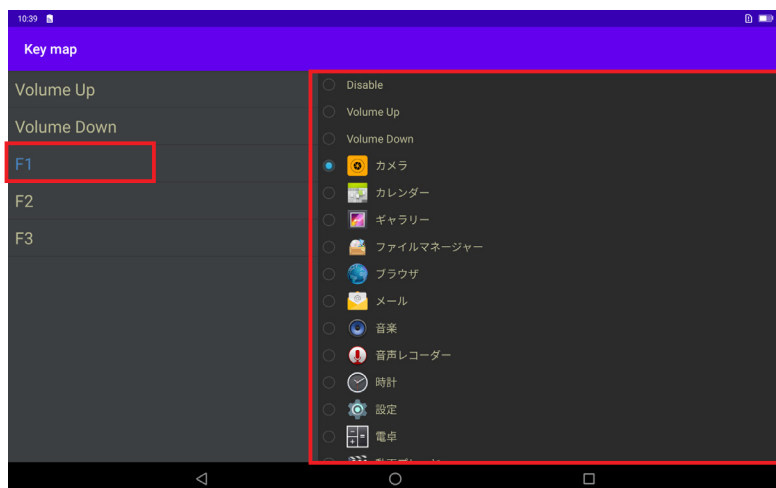
ファンクションボタンの機能を指定する

本機パネル右側に配置しているファンクションボタンの機能を変更することができます。

1. 「設定」をタップする
2. 「システム」をタップする
3. 「詳細設定」をタップする
4. 「Key map」をタップする



5. 変更したいファンクションボタンをタップする
6. 右側のメニューから、割り当てたい機能を選択する



出荷時の状態に戻す

内部ストレージの全データを消去し、出荷時の状態にリセットします。

タブレットのリセット【データの初期化】



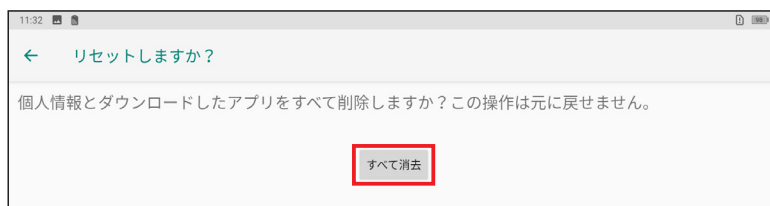
注意

Google アカウント、システムやアプリのデータと設定、ダウンロードしたアプリ、音楽、画像、他のユーザーデータを含む内部ストレージの全データが消去されます。バックアップが必要なデータはあらかじめ USB デバイスや SD カードに保存してください。

1. 「設定」をタップする
2. 「システム」をタップする
3. 「リセットオプション」をタップする
4. 「すべてのデータを消去（出荷時リセット）」をタップする
5. 「モバイル端末をリセット」をタップする



6. 「すべて消去」をタップ

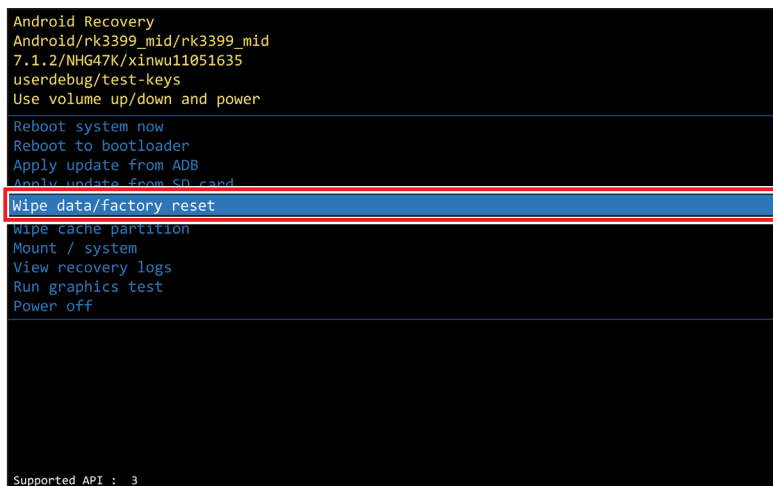


出荷時設定にリセットされ、再起動します。

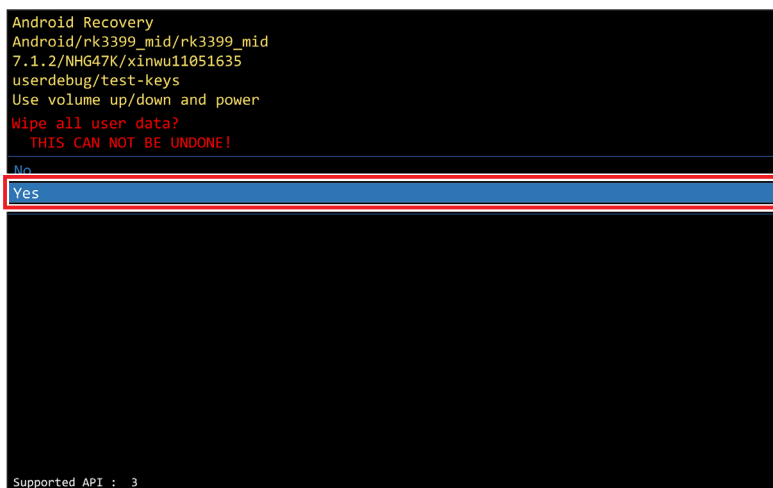
タブレットのリセット【データの初期化】

端末の設定アプリを開くことができない場合は、電源ボタンとボリュームボタンを使用して出荷時の設定にリセットすることができます。

1. 本体天面のボリュームボタン（+）を押しながら電源ボタンを長押しする
「Select Boot Mode : 」と表示されます。
2. ボリュームボタン（+）で「Recovery Mode」を選んで、ボリュームボタン（-）で決定する
Android Recovery の画面が表示されます。
3. ボリュームボタン（+）または（-）で「Wipe data/factory reset」を選択する



4. 電源ボタンを押す
5. ボリュームボタン（+）または（-）で「Yes」を選択する



6. 電源ボタンを押す
出荷時の状態にリセットされ、再び Android Recovery の画面が表示されます。

7. 「Reboot system now」を選択した状態で電源ボタンを押す

```
Android Recovery
Android/rk3399_mid/rk3399_mid
7.1.2/NHG47K/xinwu11051635
userdebug/test-keys
Use volume up/down and power

Reboot system now
Reboot to bootloader
Apply update from ADB
Apply update from SD card
Wipe data/factory reset
Wipe cache partition
Mount / system
View recovery logs
Run graphics test
Power off

Supported API : 3
-- Wiping data
Formatting /data...
Formatting /cache...
Data wipe complete.
```

再起動します。

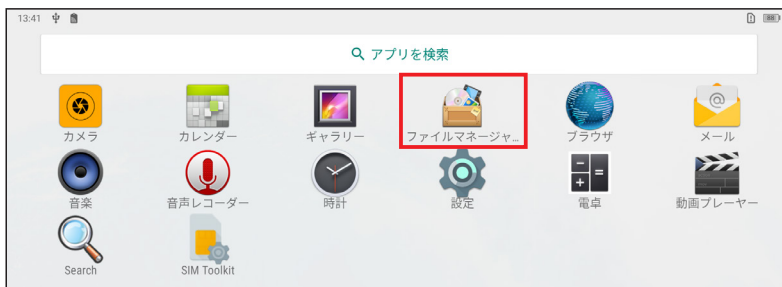
5. アプリケーションのインストール方法

アプリケーションを追加する

USB メモリまたは SD カード経由でアプリケーションを追加します。

USB メモリまたは SD カードに保存したアプリケーションを追加する

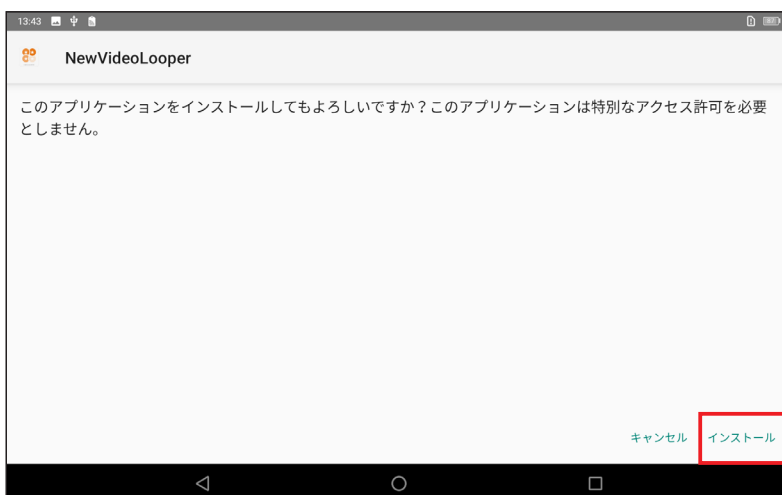
1. アプリケーションが入った USB 機器または SD カードを本機に装着する
2. ホーム画面で画面の下部から上に向かってスワイプする
3. 「ファイルマネージャ」をタップする



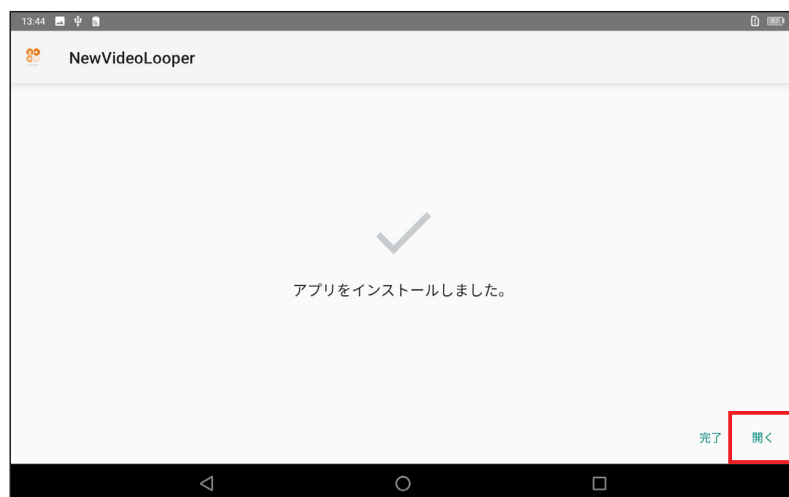
4. アプリケーションが入った USB 機器または SD カードをタップする



5. インストールするアプリケーションをタップする
6. 「インストール」をタップする



7. 「開く」または「完了」をタップする

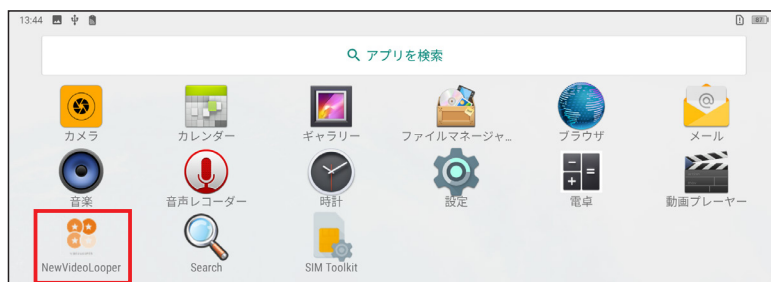


「開く」をタップすると追加したアプリケーションが起動します。



メモ

ホーム画面で画面の下部から上に向かってスワイプすると、インストールしたアプリケーションを確認できます。



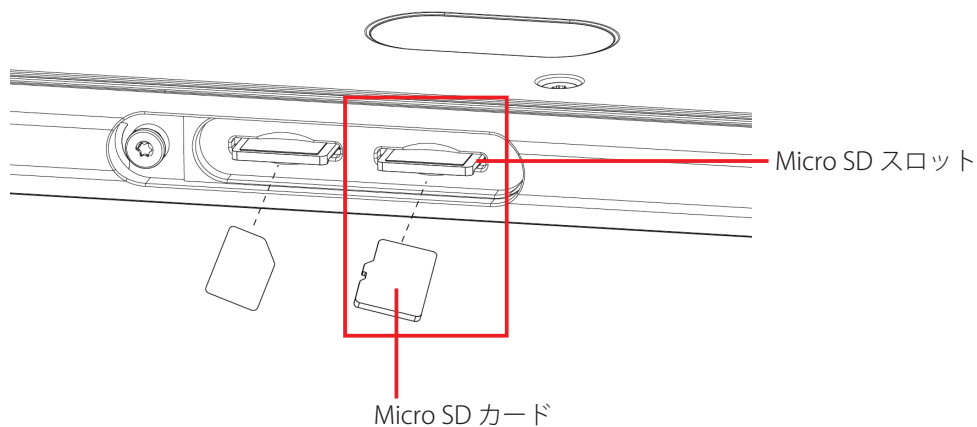
6. その他の機能・設定

Micro SD カードの取り付け

Micro SD カードを本機のスロットに挿入します。

Micro SD カードは標準サイズ（15mm × 11mm）をご使用ください。

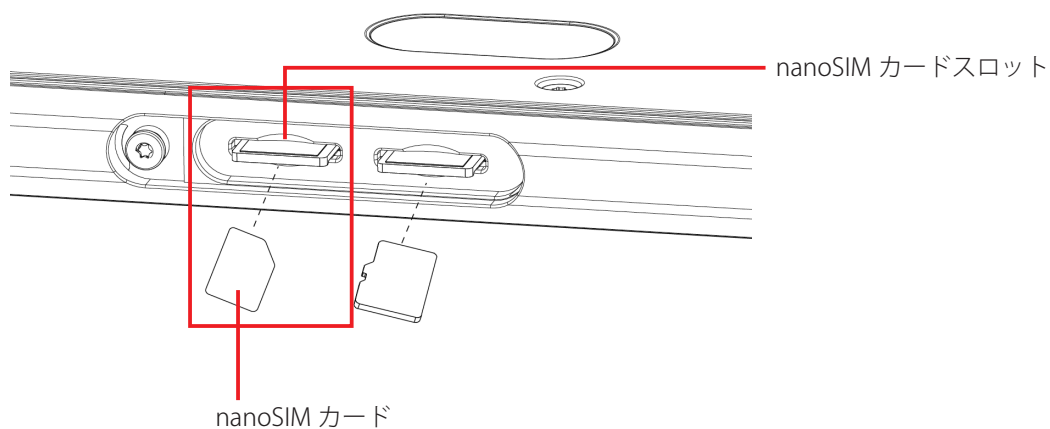
1. 本機を前面が下になるように置く
2. 本機の天面のカバーをあける
3. Micro SD カードを本体のスロットに挿入する



nanoSIM カードの取り付け

nanoSIM カードを本機のスロットに挿入します。

1. 本機を前面が下になるように置く
2. 本機の天面のカバーをあける
3. nanoSIM カードを本体のスロットに挿入する



7. デスクトップクレードル（PC-LZAADTCR01）

デスクトップクレードル使用上のご注意

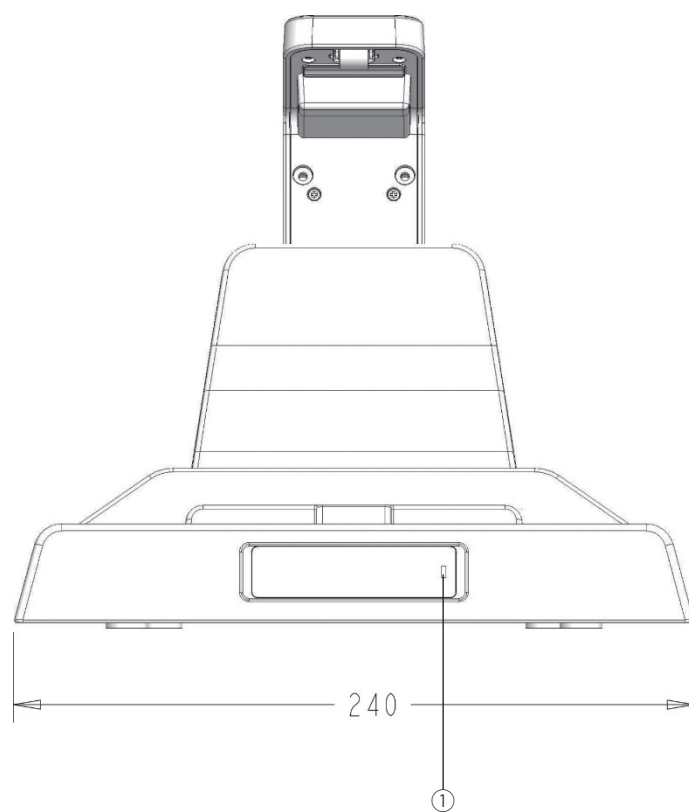
- ・ LZ-AA10 シリーズ以外のタブレットをデスクトップクレードルに接続しないでください。故障の原因となります。
- ・ タブレットをデスクトップクレードルに着脱する際は、正面から両手で着脱してください。
- ・ デスクトップクレードルにはタブレット本体付属の電源アダプターをご使用ください。それ以外を使用されますと故障の原因となります。
- ・ デスクトップクレードルの各機能は、電源アダプターで電力を供給しなければご使用になれません。
- ・ デスクトップクレードルにタブレットを装着すると、ディスプレイを繋いでいない状態でも、タブレットはマルチディスプレイとして認識します。ご利用になるアプリケーションの動作への影響につきましては、事前に検証いただくことをおすすめします。

デスクトップクレードル仕様

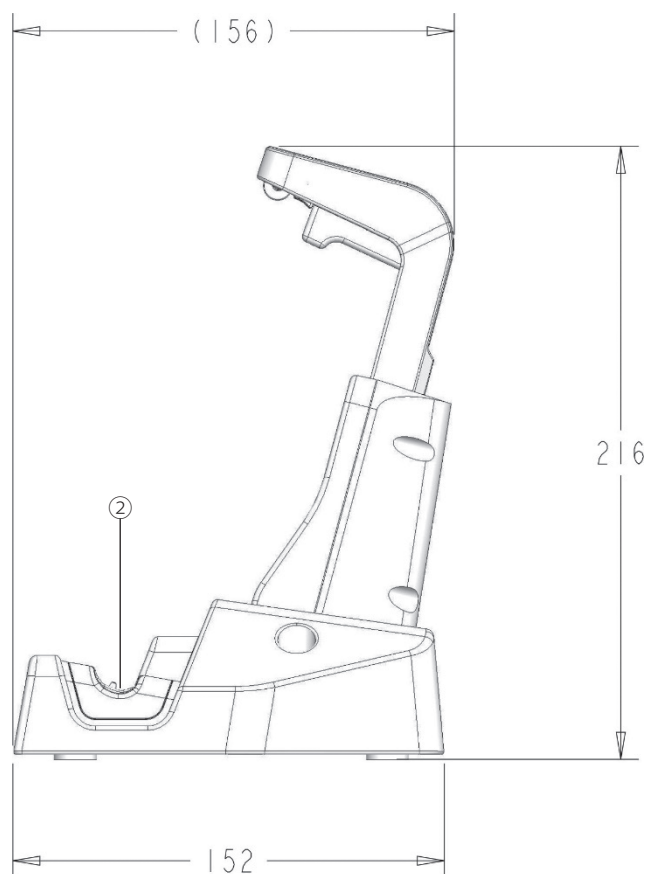
電源	電源コネクター× 1（12V DC IN）
I/O Port	USB 2.0 ポート× 2（背面× 2）
	有線 LAN コネクター（RJ-45）× 1（10/100Mbps）
使用環境	動作時 温度：0~40℃ 湿度：20~90%（ただし、結露無きこと）
	非動作時 温度：-20~60℃ 湿度：20~90%（ただし、結露無きこと）
外形寸法	幅 240 × 高さ 216 × 奥行 152mm（突起物含まず）
重量	0.78kg

デスクトップクレードル各部の名称と機能

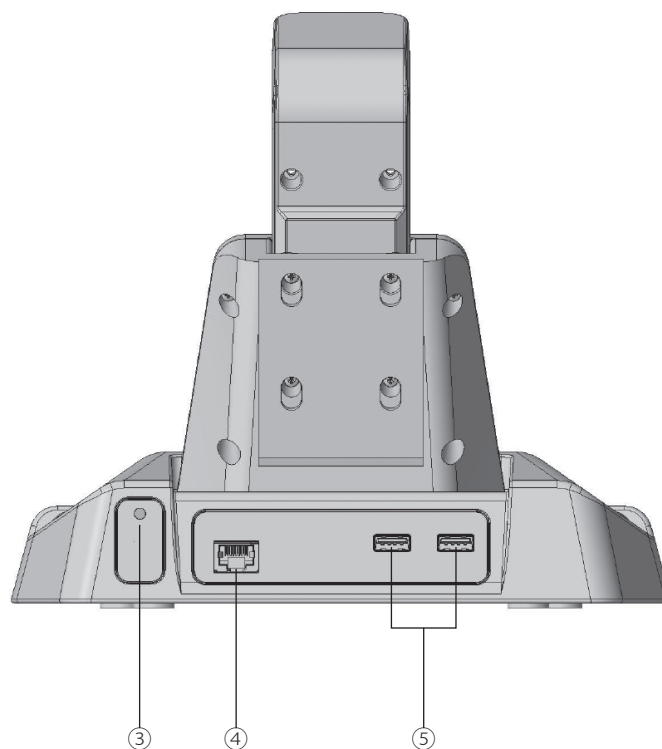
正面



右側面



背面



番号	名前	説明
①	タブレット接続ランプ	タブレットが正しく接続されると、緑色に点灯します。
②	タブレット接続コネクタ	デスクトップクレードルとタブレットを接続します。
③	電源コネクタ	タブレット本体付属の電源アダプターを接続して電力を供給します。
④	有線 LAN コネクタ	有線 LAN ケーブルを接続します。
⑤	USB2.0 ポート (2 ポート)	USB 機器と接続します。

8. トラブルシューティング

問題	対応
バッテリーが充電されない	- 充電器が正しく接続されていることを確認してください。 - 充電ランプが点滅している場合は、充電制限中になっています。本機を常温環境に置き、本機の電源を切る（シャットダウンする）するか、高負荷な状態になる作業を停止してください。
画面が表示されない	- 本機がスリープ状態になっている可能性があります。電源ボタンを押し画面が表示されるか確認してください。 - 画面の輝度が低くなっている可能性があります。輝度をあげてみてください。
画面が突然消え、電源ランプも消灯した	本機をバッテリーで使用している場合、バッテリーが切れた可能性があります。バッテリーを充電してください。
ワイヤレス LAN の電波が弱い	- 電波の範囲外の可能性があります。本機をルーターなど接続する機器の近くに移動させて確認してください。 - 本機の近くや、接続したい機器の近くに、電子レンジやコードレスフォンなど、ワイヤレス LAN の電波と干渉する機器が無いか確認してください。それらの機器があった場合は、本機やワイヤレス LAN 機器から、それらの機器を離してください。
他のワイヤレス LAN 機器に接続できない	- 本機のワイヤレス LAN 機能がオンになっているか確認してください。 - ネットワーク内のすべてのワイヤレス LAN 機器で、SSID の設定が同じであることを確認してください。 - 本機を再起動してみてください。 - IP アドレスやサブネットマスクなどネットワークの設定が正しく設定されているか確認してください。
Bluetooth で他の機器に接続できない	- 本機と接続先の機器の両方の Bluetooth 機能がオンになっていることを確認してください。 - 本機と接続先の機器の両方の電源が入っていて、かつ、検出可能になっていることを確認してください。 - 接続先の機器と本機の距離が 10m 以内であることを確認してください。また、間に壁や大きな障害物が無いことを確認してください。 - 本機と接続先の機器に互換性があることを確認してください。
GPS を使用するアプリケーションで位置情報が取得できない	- GPS のカバーエリア外の可能性があります。屋外や、窓の近くに移動してみてください。 - 本機の近くや、接続したい機器の近くに、電子レンジやコードレスフォンなど、GPS の電波と干渉する機器が無いか確認してください。それらの機器があった場合は、本機をそれらの機器から離してください。
音が出ない	- 音量ボタンで、本機の音量を調整してみてください。 - 外部のオーディオ機器を使用している場合は、正しく配線されているか確認してください。
電源ボタンを押しても反応しない	リセットボタンを押して端末をリセットしてください。

